

報告

6月30日開催

地区別計画推進研修会

6月30日開催の地区別計画推進研修会では、多くの地域福祉関係者の方々にご出席いただきまして、誠にありがとうございました。研修会について、下記のとおり報告いたします。

研修 テーマ

顔の見える関係づくりから始める
地域の見守り～防災事業

日時：6月30日（金）

14：00～16：00

会場：区役所5階大会議室 AB

参加者：71名



昨年完成した『ヨコハマの「減災」アイデア集』をテキストに、作成に関わっていた横浜プランナーズネットワークの **山路清貴氏**、**杉野展子氏**をお招きし、冊子の中から**見守りにつながる事例**を厳選してご紹介いただきました。



紹介された事例（一部抜粋）

■ 夜間訓練（テキスト 24 ページ）

【講師コメント】 ・昼間とは違う視点で訓練することが出来ます。
・**理屈より実践**。まずは繰り返し訓練を体感することで、本当の災害時での応用力がつかめます。

■ 一斉清掃後の防災訓練（テキスト 30 ページ）

【講師コメント】 ・人が集まる機会を利用すると、負担感なく、時間を有効活用できます。
・各事業が縦割りで動くのではなく、全て自分の暮らしを良くすることにつながっていくという意識が大切です。

■ ガリバーマップの作成（テキスト 39 ページ）

【講師コメント】 ・**誰でも参加できるように**工夫してマップ作りをすることで、様々な視点（子ども、車いす利用者…）から気づき、共有し、取組に活かすことが出来ます。

■ マンション内の同好会との協力関係（テキスト 63 ページ）

【講師コメント】 ・幅広い年齢層を自治会活動に取り込むために組織づくりを工夫し、担い手を増やしています。
・いざとなってから協力するのでは対応が遅れます。互いに何が必要か考え、日頃から住民につながる工夫が必要です。また、**全ての人に居場所と出番をつくる**ことが大切なポイントです。

■ まとめ ■

「する/される」より「おたがいさま」

する一方、される一方ではなくお互い様の関係性を作るのが地域づくり

裏面に続きます！

各地区での意見交換

講義終了後、引き続き地区ごとのグループワークを実施。熱い意見交換が行われました。



【テーマ】

研修を受けて、見守りの視点から自分の地域で出来るようなこと、やってみたいこと

紹介された事例について、自分たちもやってみたい、ということで、特に**まち歩き・マップ作り**や**防災訓練の充実**について意見が多くありました。今回の事例を受け、自分たちの住む地域でどのような工夫が出来るか、また、現在の地域の取組が今後見守りにどのように生かせるか、意見交わされました。

アンケート結果

回答者 66名 回答率 93%

Q1 研修の内容はいかがでしたか？

満足	4	24
↓	3	38
↓	2	2
不満	1	1

(単位：人)

Q2 研修の長さはいかがでしたか？

長い	4	6
↓	3	40
丁度いい	2.5	12
↓	2	5
短い	1	0

(単位：人)

【ご意見・感想】（一部抜粋）

「顔の見える関係づくりから始める地域の見守り～防災事業」を地域で進めていくにあたって、課題に感じていること

- ・どのように参加者を増やすか、若い人の参加促進（意見多数）
- ・会社での仕事が一段落した男性の方がなかなか地域の仲間づくりに入っていけない感じがあります。大きな力となると思うのですが…
- ・日頃からの隣近所の付き合い、声かけ、サロン等でのつながり。
- ・身近な挨拶、簡単で難しい。

研修を受けての感想・参考になったこと

- ・各人が、「お互い様」と言う気持ちを持つことが必要であることをわかってもらうようにする。
- ・顔を覚え挨拶できる関係を広げる(ただし強制しないで)
- ・研修は受けるが実行に移すことの難しさを感じる。
- ・具体的な事例を地域の中から拾って討議したら良いのでは。
- ・地域の特徴をとらえ、そこでできることを考えていくことが大切。
- ・潜在的な地域活動者を発掘して居場所とともに「出番」を作る。

最後に、区より「顔の見える関係づくりから始める地域の見守り～防災事業」説明会についてのお知らせをいたしました。依頼のあった地区へ出向き、出張説明会を実施します。関心のある方は是非お問い合わせください。

【担当】

瀬谷区役所福祉保健課 小栗・小出
電話：045(367)5743
FAX；045(365)5718